

## 知ってても損はない淋菌のウンチク

### 淋病の歴史

淋病は梅毒と並んで最も古典的な性病のひとつです。淋病の記録は古代の中国やエジプト、旧約聖書にも残されているそうです。最も正確な記録は、医学の神様とも言われるヒポクラテスが紀元前 400 年ごろに残しています。驚くことに淋病の症状はこの時代からほとんど変わっていないのです。梅毒が世界中に広まったのは新大陸発見後ですから、淋病に比べればまだまだ新顔ですね。ところがつい 150 年ぐらい前まではヨーロッパでは淋病は梅毒の症状のひとつと考えられていました。今では梅毒と淋病は違う病原体で引き起こされるということは誰でも知っています。しかし、ひとつの性病にかかるるとほかの性病にかかりやすいことは、古今東西の区別なく今でも続いているのですね。

淋病は医学用語で Gonorrhoea といいます。「精液」を意味する”Gono”と「流れる」を意味する”rhein”から 2 世紀ごろに名づけられました。淋病にみられる特徴的なウミを精液が漏れ出たものだと思ったのです。医療関係者が患者様にはわからないように隠語を使うことがありますが、「ゴノ」は淋病のことをさします。医者の世界の呼び名も 2 世紀からたいして変わらないんですね。

淋病を引き起こす病原菌＝淋菌が発見されたのは 1873 年で、日本は明治維新のころです。発見者のナイセリア博士にちなんで Neisseria Gonorrhoea という学名がついています。地方では昔から「淋病になると女郎にも相手にされなくなるから、おちんちんが淋しくて泣く病気だ」といわれていたそうです。私の母親は栃木県出身ですが、私が中学生のときに母から聞かされました。そんなことを子供に聞かせることをどうお思いでしょうか？そのときは率直に汚い話だと思いましたが、今は教訓的な民間の性教育だったんだと理解しています。

その昔、著者が医学部で習った知識はこの程度です。いや、もっといろいろ習ったかもしれませんがこんなことしか印象が残っていないのです。著者の印象は、きっと世の中の誰もが持つ印象と同じだろうと思います。つまり、「淋病」のイメージは「ふるくさい病気」「過去の病気」＝「たいしたことない病気」というところでしょう。でも、淋病をなめてはいけません！どんなに人類がすばらしい文明を築こうとも人類の歴史とともに生き残ってきた病気ですから、これからも生き残っていくことでしょう。

新宿さくらクリニック 性病辞典

<http://www.urodoc.jp/cyclopedia/archives/57>